

■エコガラスについて



人と地球にやさしい暮らしを実現します

エコガラスは、国内の建築用板ガラス製造メーカー3社（AGC、日本板硝子、セントラル硝子）が製造するLow-E複層ガラスの共通呼称で、エコガラスの基準を満たす商品に共通でエコガラスマークを使用しています。環境保護と快適な暮らしの両立を推進する窓ガラスの目印にしてください。

ecoの「e」、earthの「e」

木の葉をモチーフにした「e」の図案で、美しい自然や地球環境を表現し、未来永劫守るべき大切なものとして、中央に配しました。

Glassの「G」

周りの四角は、自然や環境を守る窓ガラスの強さと優しさをイメージしています。Glassの「G」で、ecoの「e」とearthの「e」を包み、しっかりと抱いた姿に、エコガラスの持つ使命を映しています。

●エコガラスのマークはガラスの断熱性能によって下記の種類に区分されます。

マーク (シールまたは ガラス面の刻印)	○ タイプ		
	□ タイプ		
断熱性能(U値:W/(㎡・K))		1.5以下	1.5超、4.0以下
JIS R 3209の断熱性能区分		T5～T6	T1～T4

JIS R 3209-2018複層ガラスに規定される「断熱複層ガラス」の断熱性能と同等の性能を持つものをいいます。

日本板硝子のエコガラス

スーパースペーシア、スペーシア、スペーシア クール、スペーシア21、スペーシア静、スペーシア クール静、トリプルマルチ、アルゴンガス入りLow-E複層ガラス、ペアマルチEA、ペアマルチEA寒冷地タイプ、ペアマルチLow-E、ペアマルチレイボーグ、ペアマルチスーパー、スクールペアエコ、パイロペア（遮熱高断熱タイプ、高断熱タイプ）、パイロペアJ（高断熱タイプ）、セキオペア（遮熱高断熱タイプ、高断熱タイプ）、ペアマルチラミシェルトー（遮熱高断熱タイプ、高断熱タイプ）

※エコガラスSは建材トップランナー制度に適合しています

■建材トップランナー制度

エネルギーの使用の合理化等に関する法律（昭和54年法律第49号）の規定に基づき制定

2014年11月30日施行 経済産業省告示第235号

2023年4月1日改正 2030年度目標基準値の制定

「トップランナー制度」は、日本国内で大量に消費されている機械・器具の省エネ性能の向上を図るために1998年の省エネ法に基づいて導入された制度です。従来の「トップランナー制度」はエネルギーを消費する機器が対象でしたが、2013年からは建材材料を対象とした「建材トップランナー制度」が施行され、2014年に窓（複層ガラス及びサッシ）が追加で対象となりました。これは、自らエネルギーを消費せずとも、住宅・ビルや他の機器等のエネルギー消費効率の向上に資する製品を新たに対象に追加することで、企業の技術革新を促し、住宅・建築物の断熱性能の底上げを図ることを目的としています。

各製造事業者は、2022年度までに出荷する製品の熱損失防止性能（ガラス中央部の熱貫流率（ $W/(㎡・K)$ ）を目標基準値以下とすることが求められていましたが、2023年4月に告示が改正され、新たに2030年度までの目標基準値が設定されました。

各製造事業者は、2030年度までに、出荷面積により加重平均したガラス中央部の熱貫流率を $1.67W/(㎡・K)$ 以下にすることが求められています。